



『私も先生！』プロジェクト企画第12弾

柳瀬川～その魅力に迫る～

清瀬けやきホール、2018年1月28日(日)



「あなたの川の思い出も教えて」に答えて下さった方々

旭が丘団地に住んでいます。子育てには自然豊かで山（城山）あり川（柳瀬川）ありでしたが、散歩？にはほど遠い景色でした・・・

今日の柳瀬川には目を見張る思いです。巣立っていった子ども達も子（孫）をつれ清き水の流れをみて思い出にふけているようです。

夏の川まつりに集まる子ども達のイキイキした顔を見ると、川に係ってきた皆さん方に心より感謝しております。

匿名さん（70歳代）

当時東〇〇脇に住んでいて、放水路の様な川（子どもが来ると危ない川）を見ていました。それから暫くしてガラッと変わった形になってびっくり。

どちらがほんとの川の姿か、今の川の方がスマートの様に思いますが、川底にマンホールが見えると何か興ざめ、何の為に改修したのか良くわかりません。

松山緑地に水を引けないか。森に小川があるともっと素晴らしい森になると思います。空堀川に水が戻って欲しい。

匿名さん



泳ぎを覚えた川。
水野張った川を体重を気にしながら歩いた川。
雨の後の恐ろしい川。山から木を流していた川。
魚の住んでいた川。
まだまだ沢山の恵みをうるおしている川。
人間に喜び、楽しみ、有難いですね！

S. T. さん（70歳代）



昭和50年、母が台田団地にあった〇〇の薬剤師として勤務するようになってから柳瀬川と縁ができました。旧金山橋が架け替えのため取り壊された時の様子を目撃しております。

昭和54年より台田団地に引っ越し、柳瀬川はより身近な川になりましたが、臭いがきつい汚れた川でした。でもどこか愛着があり憎めない存在でした。その後柳瀬川は再生され、都内有数の清流として評価されており、たくさんの方々へ愛して頂いております。

川づくり・清瀬の会幹事として、今後も美しい柳瀬川を保つために活動を続けて参ります。

木淳（54歳）

私の故郷は、荒川が隅田川に分かれる川に囲まれた島の様な地域で、川に対する思いはかなり強いので、清瀬に来て柳瀬川に対する思いは強いものがあります。幼き頃は、荒川放水路と呼び河原は畑、土手にはつくし、川でうなぎ釣りをした思い出があります。昭和30年前後の事で、父は会社から帰ると風呂屋へ行かず、放水路へ行った事が思い浮かびます。

K. W. さん（70歳）